

基礎薬学実習 I (分析科学系) (御船正樹、上田真史)

項目	A	B	C	D	
<p>基本的事項</p>	<p>① 実習書の一般的注意事項に沿って実習に取り組んでいる。 ② 各実習項目について、実習書に従って実習に取り組んでいる。 ③ 教員・TAの説明や指示を理解した上で実習に取り組んでいる。 ④ グループ実習ではグループの一員として協調性を持って、個々の実習でも周囲に気を配りながら実習を進めている。 ⑤ 積極的に実習に取り組んでいる。</p>	<p>5項目をすべて満たす。</p>	<p>5項目のうち、4項目を満たす。</p>	<p>5項目のうち、3項目を満たす。</p>	<p>5項目のうち、2項目以下しか満たさない。</p>
<p>技能</p>	<p>① 実習に用いる薬品、器具、機器を正しく取扱い、管理できる。 ② 正しい方法・手技で実習を実施できる。 ③ 過度に時間をかけずに実習を完了させることができる。 ④ 得られた結果が実習書の求めている内容かどうか、自分自身で判断できる。</p>	<p>4項目をすべて満たす。</p>	<p>4項目のうち、3項目を満たす。</p>	<p>4項目のうち、2項目を満たす。</p>	<p>4項目のうち、1項目を満たす。</p>
<p>レポート</p>	<p>① 表などを活用して、得られたデータが分かりやすく整理されて記載されている。 ② 計算過程が記載されている。 ③ 得られた結果が、実習書の指示通りの有効数字と単位で記載されている。 ④ 科学的に適切な表現で分かりやすくまとめられている。 ⑤ 結果に対する十分かつ適切な考察がなされている。 ⑥ 定められた期限までに提出できる。</p>	<p>6項目をすべて満たす。</p>	<p>6項目のうち、4～5項目を満たす。</p>	<p>6項目のうち、3項目を満たす。</p>	<p>6項目のうち、2項目以下しか満たさない。</p>

薬学基礎実習I(物理化学系)(須藤、小島)

項目		A	B	C	D
予習と準備	<p>①実習の目的と方法が、自分の言葉で適切かつ詳細にノートに記載されている。</p> <p>②実習に関連する知識(用語, 扱う試料の特徴, 理論など)が、参考文献や周辺知識とともにノートに正確かつ詳細に記載されている。</p> <p>③実習に関連する情報(試薬や器具の取り扱い方法や注意事項)が、ノートに正確かつ詳細に記載されている。</p> <p>④目的と方法について、図や絵などを使い、ノートが見やすく工夫されている。</p> <p>⑤目的と方法について、文字の大きさ、間隔、レイアウトなど、ノートが読みやすく工夫されている。</p>	項目①～⑤の4つ以上に該当する。	項目①～⑤の3つ以上に該当する。	項目①～⑤の2つ以上に該当する。	項目①～⑤の1つもしくは0個に該当する。
結果と考察	<p>①実習の結果が、自分の言葉で適切かつ詳細にノートに記載されている。</p> <p>②実習の考察が、自分の言葉で適切かつ詳細にノートに記載されている。</p> <p>③実習の結果と考察が実習目的に照らして論理的にノートに記載されている。</p> <p>④実験中に気づいた点, 気になった点について、文献等を調べて自分なりに考察されている。</p> <p>⑤結果と考察について、図や絵などを使い、ノートが見やすく工夫されている。</p> <p>⑥結果と考察について、文字の大きさ、間隔、レイアウトなど、ノートが読みやすく工夫されている。</p>	項目①～⑥の5つ以上に該当する。	項目①～⑥の4つ以上に該当する。	項目①～⑥の2つ以上に該当する。	項目①～⑥の1つもしくは0個に該当する。
レポート	<p>①実習の目的と方法が、自分の言葉で適切かつ詳細にレポートに記載されている。</p> <p>②実習の結果(表, グラフ, 数値, その他関連する観察事項)が、自分の言葉で適切かつ詳細にレポートに記載されている。</p> <p>③実習の考察が、出典や参考文献とともに、自分の言葉で適切かつ詳細にレポートに記載されている。</p> <p>④レポート課題に正しく回答している。</p> <p>⑤図や絵などを使い、レポートが見やすく工夫されている。</p> <p>⑥文字の大きさ、間隔、レイアウトなど、レポートが読みやすく工夫されている。</p>	項目①～⑥の5つ以上に該当する。	項目①～⑥の4つ以上に該当する。	項目①～⑥の2つ以上に該当する。	項目①～⑥の1つもしくは0個に該当する。
態度と心構え	<p>①実習で使用する試薬, 器具, 機器を正しく取り扱うことができる。</p> <p>②実習の手順に沿って、あるいは、失敗があっても冷静に、正しい方法・手技で実験できる。</p> <p>③班員と協力し、積極的かつ集中して、実習に取り組んでいる。</p> <p>④試薬・器具・機器・実習室を使用したあと、これらの周辺をきれいに片付けたり、もとにあった場所に戻すなど、次に使うすべての人のことを思って行動できる。</p> <p>⑤教員やTAとコミュニケーションをとることができる。</p> <p>⑥実習を通して、実験の喜びを知り、感動することができる。</p>	項目①～⑥の5つ以上に該当する。	項目①～⑥の4つ以上に該当する。	項目①～⑥の2つ以上に該当する。	項目①～⑥の1つもしくは0個に該当する。

薬学基礎実習 I (物理化学系) (井上)

項目	A	B	C	D	
<p>実習への積極的な取り組み</p>	<p>① 実習講義に参加し、実習の進め方を理解している。 ② 反応速度実習(イオン強度依存性)に参加し、反応速度を測定する。 ③ 反応速度実習(温度依存性)に参加し、反応速度を測定する。 ④ 実習書に従い、積極的に実習に取り組んでいる。 ⑤ 定められた期限までにレポートを提出する。</p>	<p>5項目を全て満たす。</p>	<p>5項目のうち、4項目を満たす。</p>	<p>5項目のうち、3項目を満たす。</p>	<p>5項目のうち、2項目以下しか満たさない。</p>
<p>適切なデータ解析とレポート作成</p>	<p>① 実験の目的を理解し、レポートに記載している。 ② 反応速度とイオン強度との関係を理解し、レポートに記載している。 ③ 反応速度と温度との関係(活性化エネルギーの算出含む)を理解し、レポートに記載している。 ④ 実習書内の実験手順(英文)を正しく理解し、実習書内の設問に関してレポートに回答している。 ⑤ 実験結果に対して適切に考察し、レポートに記載している。</p>	<p>5項目を全て満たす。</p>	<p>5項目のうち、4項目を満たす。</p>	<p>5項目のうち、3項目を満たす。</p>	<p>5項目のうち、2項目以下しか満たさない。</p>

薬学基礎実習 I (構造生物系)(山下, 安井)

項目	A	B	C	D
<p>基本的事項</p> <p>① 一般的注意事項に沿って実習に取り組んでいる。 ② 各実習項目について、実習書にしたがって実習に取り組んでいる。 ③ 複数人での実習の際に、グループの一員として協調性を持って実習に取り組んでいる。 ④ 周囲と議論しながら、実習に取り組んでいる。</p>	<p>4項目をすべて満たす。</p>	<p>4項目のうち、3項目を満たす。</p>	<p>4項目のうち、2項目を満たす。</p>	<p>4項目のうち、1項目以下である。</p>
<p>技能</p> <p>① 実習に用いる薬品、器具、機器を正しく取扱い、管理できる。 ② 正しい方法・手技で実験操作をできる。 ③ 実験の結果を観察し、実験ノートに記録できている。 ④ 得られた結果が、背景となる理論に合致しているか否かを判断できている。</p>	<p>4項目をすべて満たす。</p>	<p>4項目のうち、3項目を満たす。</p>	<p>4項目のうち、2項目を満たす。</p>	<p>4項目のうち、1項目以下である。</p>
<p>レポート</p> <p>① 実習項目ごとに、題目が記されている。 ② 実習項目ごとに、目的が記されている。 ③ 実習項目ごとに、実験操作が記されている。 ④ 実習項目ごとに、実験結果を客観的に記述できている。 ⑤ 実験項目ごとに、考察を記し、実験結果を論理的に考察できている。 ⑥ 各実習項目において、実習書などで、事前に与えた課題に関し、漏らさず記載がある。 ⑦ 実習項目ごとに、必要な参考文献を引用できている。 ⑧ 定められた期限までにレポートを作成し提出できる。</p>	<p>8項目をすべて満たす。</p>	<p>8項目のうち、6項目を満たす。</p>	<p>8項目のうち、4項目を満たす。</p>	<p>8項目のうち、2項目以下である。</p>